

ノンフィクション

Nonfiction

アホウドリの糞でできた国

- ナウル共和国物語 -



古田靖文 寄藤文平 絵
アスペクト

アホウドリの糞でできた島国、ナウル共和国。この国では税金も学校も病院も、ぜんぶタダ。働かずに暮らすことのできる、夢のような島でした。ところがある日、ナウルは“行方不明”に！嘘のようなホントの話。

1秒の世界 [1]

GLOBAL CHANGE in ONE SECOND



山本良一 責任編集
Think the Earth Project 編
ダイヤモンド社

「1秒間に0.3人、4秒にひとりが飢えによって命を落とし、1秒間に人口が2.4人増えている…。」普段はなかなかイメージできなくても、「1秒」という単位で見ると、刻々と替わる世界の変化に気づかされます。

世界の古代遺跡

アンリ・スティルラン 著
森山隆 訳
創元社



※現在書店等での購入はできません。
お近くの図書館等でお探してください。

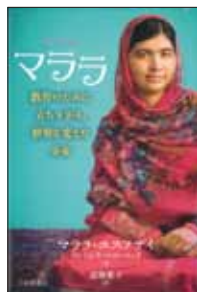
古代遺跡を空から眺めると…。世界最初の都市モヘンジョ・ダロ、エジプトのピラミッドやギリシャの神殿などが、大きく広がる写真で紹介されています。昔の人びとの暮らしを想像してみてください？

マララ

～教育のために立ち上がり、世界を変えた少女～

マララ・ユスフザイ、パトリシア・マコーミック 著
道傳愛子 訳

岩崎書店



なぜ、彼女は史上最年少でノーベル平和賞を受賞したのか？武装勢力タリバンに撃たれても、女の子も学校に行く権利があると訴え、教育のための活動を続ける少女と家族の物語。

地球の食卓

- 世界24か国の家族のごはん -



ピーター・メンツェル、
フェイス・ダルージオ 著
みつじまちこ 訳

TOTO出版

24カ国、30家族の1週間分の食材を大調査！気候・風土によって食べ物が変わるのは当たり前ですが、あふれんばかりの量と種類の「豊かな国」の食事…これは本当に豊かなのでしょうか？

ツバル

- 海拔 1 メートルの島国、その自然と暮らし -

遠藤秀一 写真・文
国土社



地球温暖化による海面上昇で、21 世紀の半ばには海の中に沈んでしまうとされる、海拔 1 メートルの島国ツバル。その美しい自然と人々の暮らしを守ることは、私たちの未来を守ることに繋がります。

トイレをつくる 未来をつくる

会田法行 写真・文
ポプラ社



日本ではどこでも当たり前にあるトイレ。しかし外国にはそうでない国がたくさんある。トイレをつくることなぜ未来を作ることになるの？ 東ティモールでのトイレを作る活動と子どもたちの暮らしを紹介した写真絵本。

ハチドリのひとしずく

- いま、私にできること -



辻信一 監修
光文社

燃えていく森。様々な動物たちが逃げ行く中、ハチドリだけは水の滴を運んでは、燃えさかる炎に落としていきます。ハチドリは「私は私に出来ることをしているだけ」と言います…。そんなとき、あなたならどうしますか？

ゲイのボクから伝えたい「好き」の？(ハテナ)がわかる本

石川大我 著
太郎次郎社エディタス



あなたは男の人ですか？ 女の人ですか？ 男の人が好きですか？ 女の人が好きですか？ 答えは二通りじゃなくて、実はさまざま。自分らしくいられるありかたや、人を好きになることについて、ちょっと考えてみませんか。

きみが微笑む時



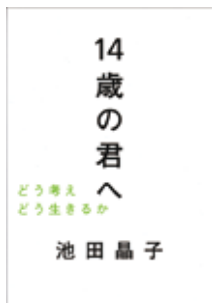
長倉洋海 著
福音館書店

アフガニスタンの少女、コソボの少年。エル・サルバドルの兄妹、釧路の労働者。政治背景も生活環境も違う人々の笑顔が集められている。生命力に輝く、純な笑顔に、普遍的な人間の存在を感じさせる写真集。



14歳の君へ

- どう考えどう生きるか -



池田晶子 著
毎日新聞社

「自分らしく」ってどういうこと？何のために勉強するの？
なんだか暗くて、つらいことの多そうな世の中。幸福な人生を生きるために、考えておきたい16のテーマ。

青い光が見えたから

-16歳のフィンランド留学記-



高橋絵里香 著
講談社

悩んでいるとき、「ムーミン」を読むとなぜかほっとする。本書はそんな物語と出会ったことをきっかけに、フィンランドへ留学した著者の体験記。そこで彼女は「ありのままの自分」を認めることの大切さを知る。

おばあちゃんが、ほけた。



村瀬孝生 著
イースト・プレス

福祉施設でお年寄りを間近に見てきた著者による、仰天のレポート！思わず吹き出してしまう驚きのエピソード、そして泣かずにはいられないほけた人達の本当の心の内側…。100% ORANGEの4コマも素晴らしい！

ついていったら、だまされる



多田文明 著
イースト・プレス

だましてお金儲けをしようとする人のところへ自らとびこんで「だまされた」著者の体験を紹介。だます側の手口、うまい話の裏側を知ってだまされない人間になろう。「ぜったいに出会えない出会い系」は特にオススメ！

政治のキホン100



吉田文和 著
岩波書店

毎日流れる政治のニュース。“難しくわかんない”でいいのかな？ 中身はテーマ別に分かれていて1話ずつ見開きで解説しているので、知りたい所から気軽に開いてみてはどうだろう。

14歳からわかる生命倫理



雨宮処凛 著
河出書房新社

生まれてくる子に障害があるとわかったら、あなたは どうしますか？ あなたや家族が不治の病に侵されているとわかったとき、あなたは安楽死・尊厳死を求めますか？ 命をめぐる難問をやさしく読み解きます。

プチ哲学

※現在書店等での購入はできません。
お近くの図書館等でお探してください。



佐藤雅彦 文と絵
中央公論新社

哲学って難しい。確かに。でも、この本に限って、そんなことはありません。日常よく目にするようなことでも視点を変えると新しい発見がある、そんなプチッとした哲学をあなたも体験してみませんか？

似ていることば

おかべたかし 文
やまだたかし 写真 東京書籍



「アザラシ」と「アシカ」、「卵」と「玉子」……なんとなく似たような意味だとは思いますが、どこが違うのかよくわからない。そんな「似ていることば」の微妙な意味の違いが、一目で明らか！

ピクトさんの本



内海慶一 著
ビー・エヌ・エヌ新社

ピクトさんって誰？あなたも一度は目にしたことがあるでしょう、非常口から脱出するあの姿。世界中で活躍(?)しているピクトさんたちをコメントとともに紹介。あなたの目にとまるのはどのピクトさん？

かんさい絵ことば辞典



ニシワキタダシ 著
早川卓馬 コラム
バイインターナショナル

わけわけ、おとん、しゅっとした、あほほど……これ、ぜーんぶ関西弁。どんなときに使う？ こんなことばも関西弁？ ゆるしいイラストがようけ載ってます、ちょっと勉強してみよか。

ミルク世紀

-ミルクによるミルクのためのミルクの本-

寄藤文平 著 チーム・ミルクジャパン 著
美術出版社



いつもわたしたちのそばにある、牛乳。でも、実はあんまりよくわかっていない牛乳。どうして白いの？ どれくらい昔から飲まれているの？ どうやったらもっと美味しくなるの？ そんな謎にたのしいイラストで答えます。



世界を、こんなふうに見てごらん



日高敏隆 著

集英社

子どもの頃、虫と話がしたかった少年は大人になって動物行動学者になった。自らの経験を通して、生きものや人間、そして世の中を見るときのヒントをやさしく語ってくれるエッセイ集。

エンデュアランス号大漂流



エリザベス・コーディー・キメル 著

千葉茂樹 訳

あすなろ書房

南極大陸横断をめざす途中で氷の海に閉じ込められたエンデュアランス号。船にいたシャクルトン隊、全28名は奇跡の生還を果たした。それはまさにエンデュアランス（不屈の精神）。失敗から勝利を導き出すリーダーとは？

恐竜研究所へようこそ



石垣忍 雨宮千嘉 著
林原自然科学博物館 著

童心社

恐竜を知ることは、私たち人間や地球のことを知ること。化石の調査や発掘現場の様子、保存処理から博物館での展示まで、恐竜にかかわる仕事を紹介。今につながる大昔をさぐる仕事の魅力を伝える。

琵琶湖の魚



今森洋輔 著

偕成社

世界じゅうで琵琶湖にしか住んでいない魚は、なんと70種類もいるそうです。この絵本にはそのうちの55種類が、うろこの一枚一枚、体の光まで描きこまれています。解説つき。

素数ゼミの謎



吉村仁 著 石森愛彦 絵

文藝春秋

アメリカには、13年または17年もの間、じっと地中で過ごすセミがいます。どうしてそんなに長い間？そして、なぜ13年や17年なのか？生き抜くためにセミたちがたどりついた数字の魔法の秘密。

へんないきもの



早川いくを 著

バジリコ

音波兵器をもつエビ、85本も足を持つタコ、100℃を超える高温の毒ガスを噴出して身を守る虫…。本当に存在する奇妙な生き物たちを、リアルなイラストで紹介します。

*続刊あります。

世界を動かした塩の物語



マーク・カーランスキー 文
S. D. シンドラー 絵
遠藤育枝 訳
BL出版

どこの家にもある塩。でも、塩が貴重品だった時代には、人々は塩を求めて多くの危険をおかし、時には戦争を起こすこともありました。人間が生きていくのにかかせない“塩”をテーマにした、世界の歴史の物語。

仏像のひみつ [正]・続



山本勉 著 川口澄子 イラスト
朝日出版社

「仏像たちにもソシキがある」「仏像の目は光る」「仏像もやせたり太ったりする」など、目からウロコのトピックス満載。これを読めば、仏像の見方が変わり、親しみを感じるようになること請け合いです。

「美しい」ってなんだろう？

-美術のすすめ-



森村泰昌 著
イースト・プレス

「カワイイ」や「カッコイイ」に比べて、「美しい」なんて普段はあまり使わない。でも…。様々な姿をした「美」の世界の広がりと奥深さを、名画に「なる」美術家、モリムラ先生がわかりやすく語ります。

うめめ

-Today's happening-



梅佳代 写真
リトルモア

何気ない日常にも、気になる瞬間はあふれている！自転車の後ろカゴからのけぞった子ども、おじさんの頭にくっついたご飯粒、砂場のネットにひっかかった猫など、写真家梅佳代の目がとらえた、思わずニヤリの場面が満載です。

THE BOOKS green

-365人の本屋さんが中高生に心から推す「この一冊」-



ミシマ社
ミシマ社

全国の書店員さんが中高生にオススメする本365冊を収録した、本のガイドブック。書店員さんならではの、個性的なキャッチコピーも読みどころです。滋賀の書店員さんからのおススメもありますよ！